

(案)

令和元年度
島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略
評価書

令和2年 月作成

島田市

目 次

総合戦略の評価・検証について（PDCA サイクルの確立）・・・・・・・・・・ 1

令和元年度総合戦略評価・検証結果（行政による自己評価）・・・・・・ 2～4

令和元年度総合戦略重要業績評価指標（KPI）実績値及び評価一覧表 6・7

【資料】総合戦略の進捗管理表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

総合戦略達成状況の評価区分について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

総合戦略達成状況の評価について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12・13

総合戦略達成状況確認表 【基本目標1】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14～17

【基本目標2】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18・19

【基本目標3】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20～23

【基本目標4】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24～27

1 取組内容

- ・平成27年度に策定した「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、第1期総合戦略という）」の着実な推進を図るため、重要業績評価指標（KPI）による事業評価、検証を行い、必要に応じて改訂するという一連のサイクルを実施する。（PDCAサイクル）
- ・産官学金労言の代表者で組織している「島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」や市内金融機関代表者と組織している「島田市まち・ひと・しごと創生金融機関会議」で外部評価を行い、評価の妥当性、客観性を担保したうえで、施策の見直しや改善を行い、総合戦略の実効性を高めていく。
- ・第1期総合戦略が令和元年度をもって計画期間満了となったことから、令和元年度評価とは別に5年間の評価として第1期総合戦略の総合評価を行い、必要に応じ第2期総合戦略を改定する。

2 評価方法

P（プラン）：総合戦略（H27～R1の5年間）
うち、施策の目標6項目、重要業績評価指標（KPI）28項目

D（計画の実施）：施策、事業の実施

C（評価）：① 自己評価
 ・行政（事業所管課等）による評価、分析
 ・島田市まち・ひと・しごと創生推進本部幹事会
 ・島田市まち・ひと・しごと創生推進本部会議
 ② 外部評価
 ・島田市まち・ひと・しごと創生市民会議
 ・島田市まち・ひと・しごと創生金融機関会議
 ③ 議会への評価書の提出（8月末）

A（見直し・改訂）：評価結果に基づき、次年度予算、施策展開に反映

3 令和元年度スケジュール

時期	項目	概要
～6月	事業所管課による自己評価	令和元年度実施事業の評価、KPIによる検証、総合戦略の見直し、改訂等
		評価結果の次年度予算、施策等への反映（事業の重点化、改善、新規施策等）
8月5日	推進本部幹事会	自己評価
8月11日	推進本部会議	事業所管課による評価、とりまとめ結果の確認
8月20日	市民会議	外部評価
8月26日	金融機関会議	行政による自己評価結果の検証
8月末	議会への評価書の提出	自己評価、外部評価結果を含む評価書の提出
3月22日	金融機関会議	事業実施状況、次年度予算、取組内容の報告
3月23日	市民会議	まち・ひと・しごと創生に関する情報交換

令和元年度

島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価・検証結果（行政による自己評価）

□総合戦略全体の評価を踏まえた今後の取組及び方向性

成果を測るために設定された全 34 項目で構成される「施策の目標」及び「重要業績評価指標（KPI）」のうち、令和元年度実績値が基準値を上回る項目は 20 項目、全体の 55.9%を占めた。（6/19 時点未評価 5 項目）

また、令和元年度末の実績値から、目標値に達成することができたものばかりではなかったものの、各指標は着実に目標値に向かっている。

これらのことから、各指標は一定の成果を上げることができたものと評価し、引き続き、市の持つ特性、魅力を生かしながら、創意工夫や独自性のある施策を創出し、第 2 期総合戦略における各施策の取組を推進、展開していく。

□基本目標ごとの評価と今後の施策展開

●基本目標 1 「日本で、世界で、稼ぐ産業の創出」（全 12 項目）

基準値から令和元年度実績値の推移 上回るもの 8 項目（66.7%）
下回るもの 4 項目（33.3%）

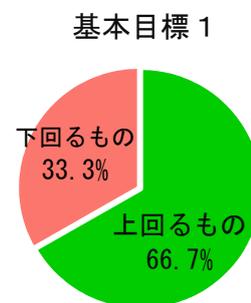
全体の 66.7%が基準値を上回っており、概ね成果が現れたと考えられる。

とくに、「新規企業立地件数」については、市内の企業訪問や県及び県東京事務所と連携した企業訪問により企業立地を促進することができた。「担い手への農地集積率」「認定農業者数」は、担い手の高齢化や後継者不足により伸び悩みはしたものの、昨年よりも実績値を増やすことができた。特に「認定農業者数」については、近隣市町と比較しても高い数値を維持していることは成果があったと言える。

なお、基準値を下回った 3 項目のうち、「観光交流客数※」については、平成 30 年 9 月末に発生した台風 24 号の影響で蓬萊橋が損傷し、10 月の利用者数が把握できなかったことや平成 31 年 3 月までは橋の途中までしか通行できなかったことが影響した。また、「中心市街地の 1 日当たりの通行量」についても、計測当日の天候が悪く、通常よりも歩行者数が少なくなっていたことが要因と考えられる。

今後は、引き続き各制度の周知・情報発信を進めるとともに「観光で稼ぐ」地域を実現するための仕組みの構築を目指す「観光戦略プラン」やコンパクトシティの拠点となる中心市街地を形成するための「中心市街地活性化基本計画」等に基づく様々な施策を実行することで、更なる成果を上げていくことが期待される。

※ 観光交流客数は一年遅れでの報告となるため、今回は平成 30 年度分が実績となる。



●基本目標2 「島田市に住み、好きになる」(全4項目)

基準値から令和元年度実績値の推移	上回るもの	2項目 (50.0%)
	評価なし	2項目 (50.0%)

評価可能な項目は、全てが基準値から好転しており、成果を上げることができた。

「移住・定住相談窓口を利用した県外からの移住件数」は、着実に件数を増やすことができた。

また、平成31年1月から令和元年12月までの「社会移動」については、81人の転入超過となった。この数値は基準年である平成26年度以降最も高い数値であり、社会移動による人口は増加傾向となっていることが分かる。特に30歳代で35人、9歳以下では116人の転入超過となっていることから、子育て世代が親子で転入していると考えられ、これまでの本市における様々な子育て施策、教育や移住・定住促進の取組の成果が現れていると考えられる。

今後は、デジタルマーケティングの手法を活用した移住希望者への働きかけや「オール島田」による「ブランディング型の情報発信」で広い範囲でのプロモーション展開を実施するなどして、引き続き転入超過傾向の維持に努める。



●基本目標3 「希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもをまんやかに子育てする」(全7項目)

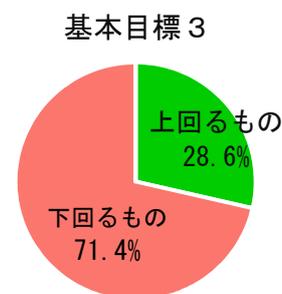
基準値から令和元年度実績値の推移	上回るもの	2項目 (28.6%)
	下回るもの	5項目 (71.4%)

子育て世代の転入超過が続いており、島田市は「子育てしやすいまち」として着実に認識されている。一方で、指標が実状を上手く拾うことができず、基準値を上回った指標は全体の28.6%にとどまった。

「学校が楽しい生徒・児童」については、昨年に引き続き基準値を上回った。この項目は基準値が既に高い数値であるため、高水準を保っていることは、十分に評価することができる。

また、基準値を下回る項目のうち、「妊娠11週までに妊娠届けをした妊婦の割合」については目標達成できなかったものの、島田市の95.0%は、国93.0%、静岡県92.8%と比較すると高い数値であり、評価することができる。「婚姻率」については、基準値を下回るが、晩婚化・非婚化が進む中で前年度を上回る成果がみられた。「保育所、放課後児童クラブの待機児童数」は、需要が増加する中、新規開所等により定員数を増やしたが、保育士の確保等が難しく、実績値は下がる結果となった。

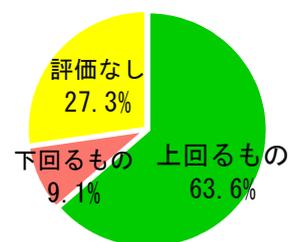
今後は、妊娠・出産に係る切れ目ない支援や個に焦点を当てた授業の推進、多様な体験活動等を更に積極的に実施するとともに保育需要による施設整備の検討や保育士等の確保を行うことで待機児童数ゼロを目指し、子育てしやすいまちづくりを推進していく。



●基本目標4 「水と緑に囲まれた健康長寿の暮らしやすいまちづくり」(全11項目)

基準値から令和元年度実績値の推移	上回るもの	7項目 (63.6%)
	下回るもの	1項目 (9.1%)
	評価なし	3項目 (27.3%)

基本目標4



基準値から上回っている項目が、全体の63.6%を占めていることから、概ね成果が現れたと考えられる。

健康長寿に関係する項目では、全ての指標が基準値を上回っており、とくに、お達者度については、静岡県平均よりも高い水準を維持し続けていることから十分に成果が出ていると考えられる。地域公共交通については、利用者数が減少傾向にある中、目標値としていた利用者数は達成したが、人口カバー率、エリアカバー率は基準値と横ばいの結果となった。

今後は、第3次島田市健康増進計画及び第3次島田市食育推進計画に基づき、健康長寿の延伸と健康格差の縮小の実現に向けた取組を展開する。また、高齢者の健康・生きがいづくりと社会参加促進のために老人クラブ活動の周知強化や島田市社会福祉協議会や地域包括支援センター、生活支援コーディネーターと情報共有及び連携、協力体制を構築し、居場所やしまトレ実施箇所数を増やし、包括的なサービス提供のための取組も継続して実施する。地域公共交通については、移動に係る利便性を確保するために多様な主体、手段による公共交通網の形成を検討していく。

令和元年度島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) 実績値及び評価一覧表

基本目標	主な施策	指標	基準値	目標値	H27 実績値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	基準値との 比較	評価	前年度実績との 比較	評価	折れ線グラフ：基準値から目標値への推移 棒グラフ：年度別実績値	
1 日本で、世界で、稼ぐ産業の創出	1人あたり市民所得 (県民所得との比率) (年間)		92.10%	100%	92.39%	90.21%	86.64%	90.40%	90.70%	-1.40%	↓	0.30%	↑		
	市内総生産額 (年間)		3,556億円	3,770億円	3,571億円	3,491億円	3,835億円	3,674億円	3,682億円	126億円	↑	8億円	↑		
	1ーア 高速交通網の拠点で稼ぐ	新規企業立地件数 (累計)	0件	11件	5件	6件	7件	9件	10件	10件	↑	1件	↑		
	1ーイ まちの魅力を活かして、観光で稼ぐ	観光交流客数 (年間)	276万人 (H25)	300万人	236万人 (H26)	239万人 (H27)	284万人 (H28)	202万人 (H29)	190万人 (H30)	△ 86万人	↓	△ 12万人	↓		
		宿泊者数 (年間)	142,199人 (H25)	197,000人	183,091人 (H26)	197,350人 (H27)	188,936人 (H28)	170,899人 (H29)	227,503人 (H30)	85,304人	↑	56,604人	↑		
	1ーウ 新たな付加価値による農林業で稼ぐ	新規青年就農者数 (累計)	2人	10人	3人	7人	8人	10人	10人	8人	↑	0人	→		
		担い手への農地集積率 (累計)	38.2%	46.0%	38.4%	39.8%	39.1%	40.5%	42.7%	4.5%	↑	2.2%	↑		
		認定農業者数 (年度末現在)	388人	396人	392人	391人	384人	384人	385人	△ 3人	↓	1人	↑		
	1ーエ 地域産業の競争力を高めて稼ぐ	森林間伐面積 (年間)	83.4ha	145.0ha	64.8ha	122.7ha	113.6ha	91.9ha	222.6ha	139.2ha	↑	130.7ha	↑		
		新規創業者数 (累計)	0人	40人	4人	19人	31人	48人	68人	68人	↑	20人	↑		
		販路開拓支援件数 (累計)	0件	500件	107件	287件	363件	577件	1,272件	1,272件	↑	695件	↑		
			中心市街地 (本通二丁目交差点) の1日当たり歩行者数 (調査実施日現在)	1,992人	2,100人	1,985人	2,008人	1,511人	2,135人	1,551人	△ 441人	↓	△ 584人	↓	
	2 島田市に住み、好きになる	社会移動 (年度末現在)		△ 71人	0人	△ 63人	17人	△ 183人	40人	81人	152人	↑	41人	↑	
島田市が好きな市民の割合 (H27年度まで：地方創生に関するアンケート調査 (18歳以上)) (H28年度以降：島田市総合計画市民意識調査 (20歳以上、R1のみ18歳以上))		72.4%	90.0%	72.4%	68.0%	66.2%	69.3%	—	#VALUE!	##	#VALUE!	##			
2ーア 移住・定住の促進		移住・定住相談窓口を利用した県外からの移住件数 (累計)	0件	100件	3件	31件	50件	64件	79件	79件	↑	15件	↑		
2ーイ シティプロモーションによるまちの魅力創造		市民幸福度の向上 (「島田市総合計画市民意識調査」)	6.3点	7.0点	6.7点	6.6点	6.6点	6.6点	—	#VALUE!	##	#VALUE!	##		

令和元年度島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) 実績値及び評価一覧表

基本目標	主な施策	指標	基準値	目標値	H27 実績値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	R1 実績値	基準値との 比較	評価	前年度実績との 比較	評価	折れ線グラフ：基準値から目標値への推移 棒グラフ：年度別実績値
3 希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもをまんなかに子育てする	合計特殊出生率 (県において期間で算出、 5年に1回公表)		1.51	1.60	—	—	—	—	1.50	△ 0.01	↓	前年度実績なし		
	3-ア 出逢い、恋して、結婚する	婚姻率(人口千人当たり)(年度末現在)	4.63	5	4.11	3.87	3.80	3.62	3.75	△ 0.88	↓	0.13	↑	
	3-イ 妊娠、出産する	妊娠11週までに妊娠届けをした妊婦の割合(年間)	95.8%	98.0%	95.1%	94.2%	96.1%	95.1%	95.0%	△ 0.8%	↓	△ 0.1%	↓	
	3-ウ 子どもをまんなかに子育てする	保育所等の待機児童数(4月1日現在)	4人	0人	11人	27人	20人	0人	15人	11人	↓	15人	↓	
		放課後児童クラブの待機児童数(4月1日現在)	0人	0人	3人	31人	28人	6人	88人	88人	↓	82人	↓	
	3-エ 豊かな心をもった子どもを育成する	学校が楽しい 児童(市内小中学校が行う学校評価データ)	89.0%	95.0%	91.0%	90.0%	90.0%	89.7%	90.6%	1.6%	↑	0.9%	↑	
学校が楽しい 生徒(市内小中学校が行う学校評価データ)		86.0%	90.0%	90.0%	88.0%	89.0%	89.1%	86.8%	0.8%	↑	△ 2.3%	↓		
4 水と緑に囲まれた健康長寿の暮らしやすいまちづくり	島田市の住みごこちがよいと感じる市民の割合 (「島田市総合計画市民意識調査」)		84.6%	90.0%	84.9%	84.1%	82.4%	85.0%	—	#VALUE!	##	#VALUE!	##	
	4-ア 健康長寿の促進	お達者度(男性)(県において算出)	10位	1位	11位	8位	8位	11位	—	#VALUE!	##	#VALUE!	##	
		お達者度(女性)(県において算出)	6位	1位	6位	6位	7位	9位	—	#VALUE!	##	#VALUE!	##	
		健幸マイレージに取り組んだ人数(年間)	329人	2,000人	713人	755人	878人	1,300人	1,269人	940人	↑	△ 31人	↓	
	4-イ 地域包括ケアの推進	居場所づくり事業実施箇所数(年度末現在)	10か所	50か所	18か所	23か所	38か所	59か所	61か所	51か所	↑	2か所	↑	
		地域高齢者見守りネットワークづくりの協力事業所数(累計)	63事業所	164事業所	97事業所	108事業所	117事業所	133事業所	144事業所	81事業所	↑	11事業所	↑	
		在宅看取りの率(在宅死亡者の率)(年間)	33.7%	39.0%	32.7%	37.2%	37.8%	37.1%	36.0%	2.3%	↑	△ 1.1%	↓	
		しまとれ実施箇所数(累計)	0か所	100か所	—	—	29か所	69か所	82か所	82か所	↑	13か所	↑	
	4-ウ 住民生活を支える公共交通基盤の整備	地域公共交通利用者数(年間)	369,957人	250,000人	379,717人	256,865人	240,036人	251,472人	250,214人	△119,743人	↓	△1,258人	↓	
		地域公共交通人口カバー率(年度末現在)	64.5%	79.8%	—	64.5%	64.5%	64.4%	65.1%	0.6%	↑	0.7%	↑	
地域公共交通エリアカバー率(年度末現在)		69.9%	76.0%	—	69.9%	69.9%	70.4%	70.4%	0.5%	↑	0.0%	→		

【評価】

●基準値とR1末実績値との比較

上回るもの：19項目(55.9%) 変動がないもの：0項目(-.%) 下回るもの：11項目(32.4%) 評価なし：4項目(11.8%)

●前年度(H30)末実績とR1末実績値との比較

上回るもの：16項目(47.1%) 変動がないもの：2項目(2.9%) 下回るもの：12項目(35.3%) 評価なし：5項目(14.7%)

(案)

令和元年度
島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略
達成率確認表

【資料】

令和2年 月作成

島田市

島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価区分について

1 評価・検証について

令和元年度実績等の最新値に基づく総合戦略に掲げる施策の目標の推移や、具体的な施策ごとの重要業績評価指標（KPI）の達成状況、本年度の取組や今後の施策展開等を取りまとめたものである。

2 評価方法について

最終年度を終えたことから目標値への達成度を考慮し、以下により評価を行っている。

総合戦略に掲げられている基本目標ごとの目標値（6項目）及び具体的な施策ごとの重要業績評価指標（KPI）（28項目）について、令和元年度実績値から達成率を算出し、S、A、B、C、Dの5段階で評価を行った。

統計調査未実施等により、評価書策定時点で達成率算出が困難な項目は「評価なし」とした。

《評価区分》

区分	評価基準
S 【120%≦達成率】	目標値を大きく超えて達成することができたもの
A 【100%≦達成率<120%】	目標値を達成することができたもの
B 【70%≦達成率<100%】	目標値は達成できなかったが、 ある程度の成果はみられたもの
C 【0%<達成率<70%】	目標値は達成できなかったが、 基準値から成果がみられたもの
D 【達成率≦0%】	実績値が基準値以下であり、 引き続き一層の努力が必要となるもの
評価なし	統計調査未実施、当該年度調査なし等により達成率の算出ができないもの

令和元年度 総合戦略の目標値及び重要業績評価指標（KPI）達成状況及び評価について

・総合戦略に掲げられている基本目標ごとの目標値（6項目）及び具体的な施策ごとの重要業績評価指標（KPI）（28項目）について、令和元年度実績値から達成率を算出し、S、A、B、C、Dの5段階で評価を行った。※統計調査未実施等、達成率算出が困難な項目は評価を行わず「評価なし」とした。

・評価凡例

S	目標値を大きく超えて達成することができたもの（120%≦達成率）
A	目標値を達成することができたもの（100%≦達成率<120%）
B	目標値は達成できなかったが、ある程度の成果は見られたもの（70%≦達成率<100%）
C	目標値は達成できなかったが、基準値から成果が見られたもの（0%<達成率<70%）
D	令和元年度の実績値が基準値以下であり、引き続き一層の努力が必要なもの（達成率≦0%）

（1）総合戦略の進捗状況による評価

①「施策の目標」の評価

	S	A	B	C	D	評価なし	前年比較
基本目標							
・施策の目標【6項目】	1	0	0	1	2	2	
日本で、世界で、稼ぐ産業の創出							
・1人当たり市民所得					●		➡ D→D
・市内総生産額				●			➡ C→C
島田市に住み、好きになる							
・社会移動	●						達成
・島田市が好きな市民の割合						※公表待ち	D→
希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもをまんなかに子育てする							
・合計特殊出生率					●		—→D
水と緑に囲まれた健康長寿の暮らしやすいまちづくり							
・島田市の住みごこちがよいと感じる市民の割合						※公表待ち	C→

【評価】

- ・現在までに評価を行った4項目のうち、1つは目標値を大きく超えるS評価となった。
- ・また、D評価となった項目についても、他市のトレンドでは減少が進む傾向の中、大幅な減少とはならず、成果を持続することができた。
- ・総合的な評価に反し、評価が悪く出ているため、目標の追加や見直しが必要と考えられる。

②「重要業績評価指標（KPI）」の評価

	S	A	B	C	D	評価なし	前年比較
基本目標							
重要業績評価指標（KPI）【28項目】	4	3	4	7	7	3	
日本で、世界で、稼ぐ産業の創出	3	2	1	1	3		
・新規企業立地件数			●				➡ B→B
・観光交流客数（年間）					●		➡ D→D
・宿泊者数（年間）		●					達成
・新規青年就農者数		●					達成
・担い手への農地集積率				●			➡ C→C
・認定農業者数					●		➡ D→D
・森林伐採面積（年間）	●						達成
・新規創業者数	●						達成
・販路開拓支援件数	●						達成
・中心市街地（本通二丁目交差点）の1日当たり歩行者数					●		⬇ S→D
島田市に住み、好きになる	0	0	1	0	0		
・移住・定住相談窓口を利用した県外からの移住件数			●				➡ B→B
・市民幸福感の向上						※公表待ち	C→—
希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもをまんなかに子育てする	0	0	0	2	4		
・婚姻率（人口千人当たり）					●		➡ D→D
・妊娠11週までに妊娠届けをした妊婦の割合					●		➡ D→D
・保育所等の待機児童数（4月1日現在）					●		⬇ S→D
・放課後児童クラブの待機児童数					●		➡ D→D
・学校が楽しい児童				●			➡ C→C
・学校が楽しい生徒				●			⬇ B→C
水と緑に囲まれた健康長寿の暮らしやすいまちづくり	1	1	2	4	0	2	
・お達者度（男性）（県内順位）						※公表待ち	D→—
・お達者度（女性）（県内順位）						※公表待ち	D→—
・健幸マイレージに取り組んだ人数				●			⬇ B→C
・居場所づくり事業箇所数	●						達成
・地域高齢者見守りネットワークづくりの協力事業所数			●				➡ B→B
・在宅等看取りの率				●			⬇ B→C
・しまトレ実施箇所数			●				➡ B→B
・地域公共交通利用者数（年間）		●					達成
・地域公共交通人口カバー率				●			⬆ D→C
・地域公共交通エリアカバー率				●			➡ C→C

【評価】

- ・28項目中、S、A評価（目標値達成）とB評価（ある程度の成果がみられたもの）の合計が11項目（全体の39.3%）を占めている。また、基準値から成果が見られた**C評価まで含めると、18項目（全体の64.3%）となり、各施策、取組の成果が着実に現れたと考えられる。**
- ・一方、基準値を下回るD評価は7項目（全体の25.0%）となった。

【基本目標1】 日本で、世界で、稼ぐ産業の創出

施策の目標	重要業績評価指標 (KPI)		期間中の変更履歴	実績値 (H27年度末) <達成率>	評価 (H27年度末)	実績値 (H28年度末) <達成率>	評価 (H28年度末)	実績値 (H29年度末) <達成率>	評価 (H29年度末)	実績値 (H30年度末) <達成率>	評価 (H30年度末)	実績値 (R1年度末) <達成率>	評価 (R1年度末)
	基準値 (H26)	目標値 (H31)											
1人当たり市民所得(県民所得との比率)(年間) (出典:しずおかけんの地域経済計算)	92.1% (H24)	1人当たり県民所得を上回る(100%)		92.39% (H25) <3.7%>	B	90.21% (H26) <基準値以下>	C	86.6% (H27) <基準値以下>	D	90.4% (H28) <基準値以下>	D	90.7% (H29) <基準値以下>	D
市内総生産額(年間) (出典:しずおかけんの地域経済計算)	3,556.26億円 (H24)	3,769.75億円 ※H20ベースにする		3,570.52億円 (H25) <6.7%>	C	3,490.80億円 (H26) <基準値以下>	D	3,835.12億円 (H27) <130.6%>	S	3,674.04億円 (H28) <55.2%>	C	3,681.54億円 (H29) <58.7%>	C

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)		期間中の変更履歴	実績値 (H27年度末) <達成率>	評価 (H27年度末)	実績値 (H28年度末) <達成率>	評価 (H28年度末)	実績値 (H29年度末) <達成率>	評価 (H29年度末)	実績値 (H30年度末) <達成率>	評価 (H30年度末)	実績値 (R1年度末) <達成率>	評価 (R1年度末)
	基準値 (H26)	目標値 (H31)											
(1) 高速交通網の拠点で稼ぐ													
<ul style="list-style-type: none"> ・富士山静岡空港周辺のまちづくり ・新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺のまちづくり ・地域資源を活かした企業誘致 ・交通拠点を活かした周辺基盤整備 	新規企業立地件数(補助金交付件数(累計))	6件 H22~H26年度立地実績	5年間で11件	5件 <45.5%>	A	6件 <54.5%>	A	7件 <63.6%>	B	9件 <81.8%>	B	10件 <90.9%>	B

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)		期間中の変更履歴	実績値 (H27年度末) <達成率>	評価 (H27年度末)	実績値 (H28年度末) <達成率>	評価 (H28年度末)	実績値 (H29年度末) <達成率>	評価 (H29年度末)	実績値 (H30年度末) <達成率>	評価 (H30年度末)	実績値 (R1年度末) <達成率>	評価 (R1年度末)
	基準値 (H26)	目標値 (H31)											
(2) まちの魅力を活かして、観光で稼ぐ													
<ul style="list-style-type: none"> ・SLを活かした観光誘客の促進 ・川根温泉及び田代の郷温泉を核とした観光の推進 ・ニューツーリズムや歴史・文化資源を活用した新たな観光の推進 ・観光資源の有効活用とロケーション活動支援の充実 ・富士山静岡空港の海外渡航先からの外国人観光客の誘致 ・観光地域づくりと広域観光連携の推進 	観光交流客数(年間)	276万人 (H25)	300万人	236万人 (H26) <基準値以下>	D	239万人 (H27) <基準値以下>	D	284万人 (H28) <33.3%>	C	202万人 (H29) <基準値以下>	D	190万人 (H30) <基準値以下>	D
	宿泊者数(年間)	142,199人 (H25)	197,000人	H30年度目標値変更 変更前 148,000人	183,901人 (H26) <100%≧>	S	197,350人 (H27) <100%≧>	S	192,013人 (H28) <100%≧>	S	170,899人 (H29) <65.5%>	B	227,503人 (H30) <115.5%>

基本目標の評価	所管課
<p>【1人当たり市民所得】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準値（H24）92.1%（282.3万円／306.5万円）と比較し、90.7%（307.3万円／338.8万円）となり、基準値よりも県との差が開いたものの、金額としては基準値よりも上昇している。 ・中部地域（5市2町）の平均（337.7万円）に対し島田市の数値は91.0%程度下回っているが、近隣の市町と比較すると、藤枝市（320.3万円）に対し95.9%、焼津市（313.9万円）に対し97.9%であり、県や中部地域の平均程大きく下回っていない。 ・島田市は県内35市町中、上から23番目となっている（藤枝市は20番目、焼津市は21番目）。 <p>【市内総生産額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準値（H24）と比較し、市内総生産額は約12億5千2百万円の増であり、目標を達成することができなかった。 ・大きく増加したものは、建設業の15億1千5百万円増（6.9%）、不動産業の8億8千2百万円増（3.4%）、農業の2億6千万円増（6.8%）である。 ・減少したものは、教育の21億1千7百万円減（-14.3%）、情報通信業の7億2千5百万円減（-7.5%）であった。 ・平成20年のリーマンショック以降続いていた、製造業の停滞については、リーマンショック以前の数値（H15～H19平均 1千204億4千2百万円）と比較し151億1千8百万円の増（12.6%）となり、市内総生産額増加の理由の一つと考えられる。 	戦略推進課

令和元年度中の取組、成果	達成率に対する要因、考察	所管課
--------------	--------------	-----

<p>【新規企業立地件数】</p> <p>1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業立地を促進するため、市内の企業訪問や県及び県東京事務所と連携した企業訪問を実施した。 ・市内遊休地等をホームページで公開し、情報提供を行った。 ・島田市土地開発公社と連携して開発を進めている新東名島田金谷IC周辺地区の工業用地のうち、一部用地において立地予定企業を決定した。（R2年度以降実績） 	<p>【新規企業立地件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業規模拡大のために用地を取得して新たな雇用を創出した市内企業に対し、島田市企業立地促進事業費補助金を交付した。 	内陸フロンティア推進課
--	---	-------------

令和元年度中の取組、成果	達成率に対する要因、考察	所管課
--------------	--------------	-----

<p>【観光交流人口】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港就航先、首都圏、中京圏における国内からの誘客キャンペーン、冊子「大井川で逢いましょう」のトーマス特集などの首都圏地下鉄駅構内や東名高速道路サービスエリアでの配架などについて引き続き実施し、交流人口の拡大を図った。 ・かわまちづくり計画に基づく蓬萊橋周辺整備事業として整備されたお休み処兼物産販売所「蓬萊橋 897.4茶屋」を管理運営し、観光交流客数の増加を図った。 ・大井川鐵道株式会社のきかんしゃトーマス号の運行に併せたおもてなし事業の実施などについて、継続して取り組んだ。 ・静岡県中部・志太榛原地域連携DMOを中心に、魅力的な観光地域づくりや、戦略に基づく一元的な情報発信及びプロモーションを推進した。 ・静岡DCキャンペーンの一環で、首都圏でパンフレットの配布等を実施した。 ・その他、しまだ大井川マラソン大会や合宿誘致、オリンピック・パラリンピック合宿誘致に取り組んだ。 	<p>【観光交流人口】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流客数の算出には、市内関係施設（集客施設等）の任意の協力が必要だが、平成29年度から協力が得られなくなった施設があるため、当該施設分の数値が反映されていない。 ・（平成30年度）実績値は、上記に加え、台風などの悪天候の影響で、蓬萊橋が全面利用できなくなったことも観光交流客数が大きく減少した要因であると思われる。 	観光課
<p>【宿泊者数（年間）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外からの誘客につながる事業を展開するとともに、空港就航先、首都圏、中京圏における国内キャンペーンを積極的に展開することで宿泊者の増加を目指した。 ・静岡県中部・志太榛原地域連携DMOをはじめとする広域観光との連携により今後の更なる観光振興を推進し、観光交流客、宿泊者数の増加を図った。 	<p>【宿泊者数（年間）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度の川根温泉ホテルの開業やトーマス運行による家族連れの宿泊者などにより、目標値を達成できたと考ええる。 ・平成30年度（実績値は平成29年度）から令和元年度（実績値は平成30年度）にかけての宿泊者数の増加理由としては、平成29年度に富士山静岡空港国際便の減少により、中国を中心とするインバウンドが一時的に低下していたことや、東名吉田インターチェンジ付近に新しくホテル（ハタゴイン）がオープン（H29.12月）したことが要因であると推察される。 	観光課

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)		期間中の変更履歴	実績値 (H27年度末) <達成率>	評価 (H27年 度末)	実績値 (H28年度末) <達成率>	評価 (H28年 度末)	実績値 (H29年度末) <達成率>	評価 (H29年 度末)	実績値 (H30年度末) <達成率>	評価 (H30年 度末)	実績値 (R1年度末) <達成率>	評価 (R1年 度末)	
	基準値 (H26)	目標値 (H31)												
(3) 新たな付加価値による農林業で稼ぐ														
<ul style="list-style-type: none"> 茶の生産基盤の強化と消費拡大 6次産業化とブランド化の推進 地域農業の振興と地産地消の推進 多様な担い手の確保・育成 生産性の高い林業の実現 	新規青年就農者数(累計)	2人	10人	H30年度 目標値変更 変更前 7人	3人 <20%>	B	7人 <100%≦>	S	8人 <100%≦>	S	10人 <100%≦>	S	10人 <100%>	A
	担い手への農地集積率(累計)	38.20%	46%	H30年度 目標値変更 変更前 67%	38.4% <0.7%>	C	39.8% <5.6%>	C	39.1% <3.1%>	C	40.5% <29.4%>	C	42.7% <57.7%>	C
	認定農業者数(年度末現在)	388人	396人	H30年度 目標値変更 変更前 450人	392人 <6.5%>	C	391人 <4.8%>	C	384人 <基準値以下>	D	384人 <基準値以下>	D	385人 <基準値以下>	D
	森林伐採面積(年間)	83.4ha	145ha		64.8ha <基準値以下>	D	122.7ha <63.8%>	A	113.61ha <49.0%>	B	91.93ha <13.8%>	D	222.59ha <226.0%>	S

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)		期間中の変更履歴	実績値 (H27年度末) <達成率>	評価 (H27年 度末)	実績値 (H28年度末) <達成率>	評価 (H28年 度末)	実績値 (H29年度末) <達成率>	評価 (H29年 度末)	実績値 (H30年度末) <達成率>	評価 (H30年 度末)	実績値 (R1年度末) <達成率>	評価 (R1年 度末)	
	基準値 (H26)	目標値 (H31)												
(4) 地域産業の競争力を高めて稼ぐ														
<ul style="list-style-type: none"> 地域産業の振興 商業・サービス産業の活性化 企業とのマッチング促進 	新規創業者数(累計)	***	5年間で40件	H30年度 目標値変更 変更前 5年間で20件	4件 <20%>	B	19件 <95%>	A	31件 <155%>	S	48件 <120%>	S	68件 <170%>	S
	販路開拓支援件数(累計)	***	5年間で500件		107件 <21.4%>	B	287件 <57.4%>	A	363件 <72.6%>	B	577件 <115.4%>	S	1,272件 <254.4%>	S
	中心市街地の1日当たり歩行者数(調査実施日現在)	1,992人	2,100人		1,985人/日 <基準値以下>	D	2,008人/日 <14.8%>	C	1,511人/日 <基準値以下>	D	2,135人/日	S	1,551人/日 <基準値以下>	D

令和元年度中の取組、成果	達成率に対する要因、考察	所管課
<p>【新規青年就農者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の新規就農者はいなかった。 平成30年度の新規青年就農者の一人が離農者してしまい、実質的な合計は9人となった。 9人のうち6人+1夫婦に青年就農給付金を給付した。 	<p>【新規青年就農者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 就農したものの、家庭の事情により離農せざるを得なくなった者がいた。 新規就農は初期投資から作物が収穫できるまで収入がなく、また軌道に乗るまで経営が安定しないため、就農へのハードルは高いとみられる。 	
<p>【担い手への農地集積率】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の認定農業者は4人脱退、5人加入で1人増となり、集積面積合計は1,331haであった。 	<p>【担い手への農地集積率】</p> <ul style="list-style-type: none"> 担い手の高齢化や後継者問題により認定者数を延ばすことができなかつたため、農地集積が進まなかつた。 	農業振興課
<p>【認定農業者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、認定農業者の期間満了者22人のうち18人を再認定した（更新4人減）。新たに5人新規認定し、全体では1人増であった。 認定農業者数：R元年度385人、H30年度 384人、H29年度 384人、H28年度 391人、H27年度 392人 	<p>【認定農業者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に森林環境譲与税を活用した「島島市間伐推進事業」の実施により、面積の増加が図られた。 	農林整備課
<p>【森林整備面積（年間）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「しずおか林業再生プロジェクト推進事業」により2.52ha、「森林環境保全直接支援事業」により24.35ha、「合板・製材生産性強化対策事業」により53.60ha、「森林・山村多面的機能発揮対策事業」により2.5ha、「島島市間伐推進事業」により13.41ha、県事業「森の力再生事業」により126.21haの間伐等の森林整備を実施した。 		

令和元年度中の取組、成果	達成率に対する要因、考察	所管課
<p>【新規創業者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業支援センターで創業希望者向けセミナーを実施した。 志太三市が連携し創業者向けセミナーやビジネスプランコンテストを実施した。 産業支援センターで起業希望者向け補助金を7人に対して交付した。 産業支援センターで起業希望者の個別相談を受けた。 起業希望者向け補助金の活用率を高めるため、申請手続きを簡略化した。 	<p>【新規創業者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 起業希望者から個別相談を受けて、セミナー受講やビジネスプラン作成へと誘導し、さらに交付金を交付するという一連の流れが奏功し、20人の新規創業者を輩出することができた。 	
<p>【販路開拓支援件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内中小企業が販路開拓を目的に行う展示会等の開催および展示会等への出展に対し、費用の一部を補助した。 令和元年度に補助した事業での成約数は695件。 	<p>【販路開拓支援件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 展示会等へ出品する製品が高価なものほど成約に結びつかないこと、開催・参加する展示会の種類（展示会、商談会、即売会など）によっても成約数が異なることから、その評価は年度により大きな差が生じることとなる。 即売会における販売数が伸びたため、前年の214件の約3.2倍の695件となった。 	商工課
<p>【中心市街地の1日あたりの通行量】</p> <ul style="list-style-type: none"> び〜ファイブしまだ音楽広場の管理運営を委託し、音楽やダンスのできる環境を提供した。 おび通りを活用し、映画上映会、古本市などのイベントを実施した。また市民、事業者におび通りの利用を呼びかけた。 	<p>【中心市街地の1日あたりの通行量】</p> <ul style="list-style-type: none"> び〜ファイブしまだ音楽広場がオープン効果が減少した。また、長時間滞留できる施設が少ないことから、当日の環境（天気や気温）を受けやすく、調査当日の環境が悪かったため。中心市街地の歩行者通行量の減少に繋がったと考えられる。 	

【基本目標2】 島田市に住み、好きになる

施策の目標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	期間中の変更履歴	実績値 (H27年度末) <達成率>	評価 (H27年度末)	実績値 (H28年度末) <達成率>	評価 (H28年度末)	実績値 (H29年度末) <達成率>	評価 (H29年度末)	実績値 (H30年度末) <達成率>	評価 (H30年度末)	実績値 (R1年度末) <達成率>	評価 (R1年度末)
社会移動 (年度末現在)	転出超過 (71人)	均衡		転出超過 (H27.1~12) (63人) <11.3%>	C	転入超過 (H28.1~12) (17人) <100%≦>	S	転出超過 (H29.1~12) (252人) <基準値以下>	D	転入超過 (H30.1~12) (40人) <100%≦>	S	転入超過 (R1.1~12) (81人) <214.1%>	S
島田市が好きな市民の割合 (平成27年度まで: 地方創生に関するアンケート調査 (18歳以上)) (平成28年度以降: 島田市総合計画市民意識調査 (20歳以上))	72.4% (18歳以上)	90%		*** アンケート調査未実施のため	***	68.0% <基準値以下> (20歳以上)	D	66.2% <基準値以下>	D	69.3% <基準値以下>	D	公表待ち (8月末)	-

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)		期間中の変更履歴	実績値 (H27年度末) <達成率>	評価 (H27年度末)	実績値 (H28年度末) <達成率>	評価 (H28年度末)	実績値 (H29年度末) <達成率>	評価 (H29年度末)	実績値 (H30年度末) <達成率>	評価 (H30年度末)	実績値 (R1年度末) <達成率>	評価 (R1年度末)
	基準値 (H26)	目標値 (H31)											
(1) 移住・定住の促進													
・定住化の促進	移住・定住相談窓口を利用した県外からの移住件数 (累計)	***	5年間で100件	3件 (7人) <3%>	C	34件 (72人) <31%>	B	50件 (127人) <50%>	B	64件 (171人) <64%>	B	79件 (212人) <79%>	B

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)		期間中の変更履歴	実績値 (H27年度末) <達成率>	評価 (H27年度末)	実績値 (H28年度末) <達成率>	評価 (H28年度末)	実績値 (H29年度末) <達成率>	評価 (H29年度末)	実績値 (H30年度末) <達成率>	評価 (H30年度末)	実績値 (R1年度末) <達成率>	評価 (R1年度末)
	基準値 (H26)	目標値 (H31)											
(2) シティプロモーションによるまちの魅力創造													
・シティプロモーションの推進	市民幸福感の向上 (島田市総合計画市民意識調査)	6.3点	7点以上かつ全国平均以上	6.7点 <57.1%>	B	6.6点 <42.9%>	C	6.6点 <42.9%>	C	6.6点 <42.9%>	C	公表待ち (8月末)	-

基本目標の評価	所管課
<p>【社会移動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転入が転出を40人上回り、目標値超えとなった。 ・H25 (▲298人)、H26 (▲71人)、H27 (▲63人)、H28 (+17人)、H29 (▲252人)、H30 (+40人)、R1 (+81人) ・年齢別では、0～9歳、30～39歳でそれぞれ116人、35人の転入超過となっており、子育て世代の転入が増加が見込まれる。 ・15～19歳、20～24歳でそれぞれ、13人、96人の転出超過となっており、就学や就職による転出が多く見込まれる。 ・一方で、25～29歳では例年転出超過だったものの、R1年度は7人の転入超過となった。 	戦略推進課

令和元年度中の取組、成果	達成率に対する要因、考察	所管課
--------------	--------------	-----

<p>【移住・定住相談窓口を利用した県外からの移住件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の移住・定住の促進と中山間地域のコミュニティの維持を図るため、移住希望者への相談対応や住宅の取得支援、移住に関する情報発信、地域おこし協力隊の派遣等に取り組んだ。 ・島田市に住もう応援奨励金【実績8件 22人】 ・島田市移住・就業支援金【実績1件 1人】 ・移住体験モニターツアー【実績2回 3人】 ・移住相談会への出展【出展回数 5回】 ・移住・定住ポータルサイトの運営 ・空き家バンクの運営 ・地域おこし協力隊の派遣【実績3人】 ・職員採用(地方創生枠)【実績1人】 ・結婚新生活支援補助金(子育て応援課)【実績4件8人】 	<p>【移住・定住相談窓口を利用した県外からの移住件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島田市に住もう応援奨励金は、見込みより少ない執行となった。利用者の8割がUターン(6件/8件)、9割(7件/8件)が子育て世帯で、市の子育て支援施策がUターン移住者の評価に繋がったものと考えているが、世帯数としては前年(9件)を下回った。 ・島田市移住・就業支援金は令和元年度からの新規事業だったが、交付対象者がかなり限られ、1件の交付に留まった。 ・移住体験ツアーは、林業体験を2回実施した。 ・空き家バンクは、空き家登録が伸び悩み、マッチングには至らなかった。 ・地域おこし協力隊員は川根地区に隊員1名を新規採用した。 	市民協働課
---	---	-------

令和元年度中の取組、成果	達成率に対する要因、考察	所管課
--------------	--------------	-----

<p>【シティプロモーションの推進】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①体験プログラムの開発 テーマに「緑茶化計画と協働」を掲げ、1年を通して本市で緑茶化体験ができる6つの自走体験型プログラムを市民や企業等と開発し、「島田の緑茶観光」を具体化した。 ②既存コンテンツの展開 市内飲食店や茶商等と連携して商品開発した七種の緑茶「島田グリーンシティー」と七種の緑茶ハイ「プレミアム島田割り」をPRする「島田DEいっぷく」プロジェクトvol.2を展開した。取扱店舗を増やし、市内の飲食店15店舗(昨年12店舗)で提供をした。 ③ブランド商品の開発 (1) 島田DEいっぷく宿泊プランの開発 宿泊施設と島田DEいっぷく加盟店、楽天との間で宿泊プランを共同開発した。 (2) 島田市緑茶化計画商品開発事業 七種のティーバッグと三種の緑茶菓子を開発し、市内商店で販売を開始した。 ④パンフレット制作及び更新 ・島田DEいっぷくvol.2パンフレット：A3見開き ・島田の緑茶観光パンフレット：A3見開き ・島田の緑茶観光ポスター：B2判 ・七種のティーバッグ、三種の緑茶菓子のパンフレット：A4両面 ⑤ワークショップの開催 「しるっ茶しまだ」、「島田商業高校」で講座を開催。 ⑦デジタルマーケティングの活用 SNS広告を通じて宿泊プランの告知を実施。 配信期間：3月25日～3月31日の7日間 ⑥島田市緑茶化計画ロゴ使用承認 27件 	<p>【シティプロモーションの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島田市のシティプロモーションは、単年度で完成するものではない。継続的にブランドメッセージ「島田市緑茶化計画」のもと様々な事業に関連づけて実施していくものと考えている。 ・これまでは、コンテンツ制作を重点的に実施してきたが、今後は、そのコンテンツを活用した、広い範囲でのプロモーションを展開していく必要があると考える。これまで関係してこなかった事業にも目を向け、シティプロモーションとして展開していくことで、一体となったシティプロモーションを展開できる。 また、市のみならず企業や市民・団体と一体となって「オール島田」で取り組む必要がある。 ・各事業等との連携や関連づけを行い、従来の分散型情報発信と異なる「ブランディング型の情報発信」による認知度の向上につながる取組を継続して推進していく必要があると考える。 	広報課
--	---	-----

【基本目標3】 希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもをまんなかに子育てする

施策の目標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	期間中の変更履歴	実績値 (H27年度末) <達成率>	評価 (H27年度末)	実績値 (H28年度末) <達成率>	評価 (H28年度末)	実績値 (H29年度末) <達成率>	評価 (H29年度末)	実績値 (H30年度末) <達成率>	評価 (H30年度末)	実績値 (R1年度末) <達成率>	評価 (R1年度末)
合計特殊出生率	1.51 (H24)	1.6		*** <県において期間で算出、公表は平成31年度>	***	*** <県において期間で算出、公表は平成31年度>	***	*** <県において期間で算出、公表は平成31年度>	***	*** <県において期間で算出、公表は平成31年度>	***	1.50 (H30) <基準値以下>	D

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)		期間中の変更履歴	実績値 (H27年度末) <達成率>	評価 (H27年度末)	実績値 (H28年度末) <達成率>	評価 (H28年度末)	実績値 (H29年度末) <達成率>	評価 (H29年度末)	実績値 (H30年度末) <達成率>	評価 (H30年度末)	実績値 (R1年度末) <達成率>	評価 (R1年度末)
	基準値 (H26)	目標値 (H31)											
(1) 出逢い、恋して、結婚する													
<ul style="list-style-type: none"> 出逢い力の創造 出逢いの場づくり 	婚姻率 (人口千人当たり) (年度末現在)	4.63	5	4.11 <基準値以下>	D	3.87 <基準値以下>	D	3.80 <基準値以下>	D	3.62 <基準値以下>	D	3.75 <基準値以下>	D

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)		期間中の変更履歴	実績値 (H27年度末) <達成率>	評価 (H27年度末)	実績値 (H28年度末) <達成率>	評価 (H28年度末)	実績値 (H29年度末) <達成率>	評価 (H29年度末)	実績値 (H30年度末) <達成率>	評価 (H30年度末)	実績値 (R1年度末) <達成率>	評価 (R1年度末)
	基準値 (H26)	目標値 (H31)											
(2) 妊娠、出産する													
<ul style="list-style-type: none"> 妊娠・出産に関する正しい知識の普及と相談体制の確保 不妊に悩む方への支援 妊娠・出産に向けての支援 	妊娠11週までに妊娠届けをした妊婦の割合 (年間)	95.80%	98%	95.1% <基準値以下>	D	94.2% <基準値以下>	D	96.1% <13.6%>	C	95.1% <基準値以下>	D	95.0% <基準値以下>	D

基本目標の評価	所管課
<p>【合計特殊出生率】 (市町村別の合計特殊出生率が公表されなかったため、県の合計特殊出生率にて評価) 合計特殊出生率は、基準値よりも0.2ポイント下がった。 要因としては、子どもを生むことができる女性人口が減少していること、子どもを生んでから転入しているケースが多いことが考えられる。</p>	戦略推進課

令和元年度中の取組、成果	達成率に対する要因、考察	所管課
<p>【出逢い方の創造・出逢いの場づくり】 市内で活躍している結婚支援団体との間で、出会いの場の創出や家庭を持つことのきっかけづくりについて、を官民連携で行う体制や相互間の情報共有の場とする「島田市結婚支援ネットワーク」を設立した。 また、結婚支援団体との連携を深め、共同で活動が行えるように意見交換会を実施した。「宮美殿主催の婚活イベント」「大井川鐵道主催の婚活イベント」を、市広報紙・ホームページで周知し、県・近隣市町にチラシの配架を依頼するなど、結婚支援ネットワーク加入団体の活動の支援（広報）を行った。</p>	<p>【出逢い方の創造・出逢いの場づくり】 ・島田市は他市町と比較し、第2子の出産割合は高いが、婚姻率が県平均より低くなっている。（婚姻率島田市4.6、県平均5.4、全国平均5.5/人口動態保健所・市町村別等統計（H20～24）） ・結婚支援団体が共同して「婚活イベント」を実施したり、島田市では広報を用いてイベント等の周知を行った。また、結婚支援団体の活動を支援して、婚姻率の維持につなげることができた。</p>	子育て応援課

令和元年度中の取組、成果	達成率に対する要因、考察	所管課
<p>【妊娠・出産に関する正しい知識の普及と相談体制の確保】 ・社会教育課主催の事業、中学生体験講座「あかちゃんふれあいタイム」を第一中学校、初倉中学校、金谷中学校で実施した。出産適齢期や子育てに関する講座をサポートした。</p> <p>【不妊に悩む方への支援】 ・不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減し、医療保険適応外の一般不妊治療や特定不妊治療に要する費用の一部について助成した。 一般不妊治療申請者 34組（交付決定 38件） 不育症治療費申請者 0件 特定不妊治療申請者 72組（交付決定115件）</p> <p>【妊娠・出産に向けての支援】 ・母子手帳交付時に担当保健師を決め、子育て世代包括支援センター「てくてく」とともに、妊娠期からの切れ目ない支援を行った。 ・子育てコンシェルジュと連携を密にとり、支援を行った。 ・母子手帳交付時に、全員に対し妊婦と一緒に、妊娠出産に向けたプランを立てている</p>	<p>【妊娠・出産に向けての支援】 ・届出が遅くなった理由は、生理不順やつわりがないことで気づくのが遅くなったという人が多かった。目標は達成できなかったが、11週までの届出の割合は全国では93.0%、静岡県では92.8%であり、島田市はそれを上回っている。</p>	健康づくり課

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)		期間中の変更履歴	実績値 (H27年度末) <達成率>	評価 (H27年 度末)	実績値 (H28年度末) <達成率>	評価 (H28年 度末)	実績値 (H29年度末) <達成率>	評価 (H29年 度末)	実績値 (H30年度末) <達成率>	評価 (H30年 度末)	実績値 (R1年度末) <達成率>	評価 (R1年 度末)
	基準値 (H26)	目標値 (H31)											
(3) 子どもをまんなかに子育てする													
・子育て施設の整備 ・子育て支援体制の充実 ・妊娠・出産・子育てに対する負担感の軽減 ・親と子どもの健康の確保及び増進 ・地域・社会全体で子育てを支える機運の醸成	保育所等の待機児童数 (4月1日現在)	4人 (H26.4.1)	0人	11人 (H27.4.1) <基準値以下>	D	24人 (H28.4.1) <基準値以下>	D	20人 (H29.4.1) <基準値以下>	D	0人 (H30.4.1) <100%>	S	15人 (H31.4.1) <基準値以下>	D
	放課後児童クラブの待機児童数 (4月1日現在)	0人	0人	3人 <基準値以下>	D	31人 (H28.4.1) <基準値以下>	D	28人 (H29.4.1) <基準値以下>	D	6人 (H30.4.1) <基準値以下>	D	88人 (H31.4.1) <基準値以下>	D

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)		期間中の変更履歴	実績値 (H27年度末) <達成率>	評価 (H27年 度末)	実績値 (H28年度末) <達成率>	評価 (H28年 度末)	実績値 (H29年度末) <達成率>	評価 (H29年 度末)	実績値 (H30年度末) <達成率>	評価 (H30年 度末)	実績値 (R1年度末) <達成率>	評価 (R1年 度末)
	基準値 (H26)	目標値 (H31)											
(4) 豊かな心をもった子どもを育成する													
・個に焦点を当てた授業の推進 ・多様な体験活動の充実 ・子どもたちの成長を支える連携した教育の推進 ・安心・安全な学校づくり	学校が楽しい児童 (市内小中学校が行う学校評価データ)	89%	95%	91% <33.3%>	A	90% <16.7%>	C	90% <16.7%>	C	89.7% <11.7%>	C	90.6% <26.7%>	C
	学校が楽しい生徒 (市内小中学校が行う学校評価データ)	86%	90%	90% <100%>	S	88% <50.0%>	B	89% <75.0%>	B	89.1% <77.5%>	B	86.8% <20.0%>	C

令和元年度中の取組、成果	達成率に対する要因、考察	所管課
--------------	--------------	-----

<p>【保育所等の待機児童数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化により子どもの数は減少する一方、保育需要は高まる傾向にあるが、申込状況等を勘案するとここ数年で頭打ちになると見込まれる。 ・令和元年8月になごみ保育園（現しまだなごみ保育園）が定員を7人増員したほか、令和元年11月にすばるKaKa保育園（小規模A・定員12人）及び保育所きぼう島田初倉園（小規模A・定員12人）が開園し、受け入れ枠を増やした。 ・すばるKaKa保育園及び保育所きぼう島田初倉園が令和2年4月1日にそれぞれ定員を19人とし、受け入れ枠を計14人増やした。 	<p>【保育所等の待機児童数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年中の取組により、受け入れ枠を増やしたが、令和2年4月1日現在、待機児童が3人発生した。 ・入園調整がほぼ固まりかけた令和2年1月時に、一部の保育所から、保育士の離職で6人受け入れができなくなったとの連絡が入った。入園調整をやり直したが、結果的にその影響により待機児童が発生した。 	保育支援課
<p>【放課後児童クラブの待機児童数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用申込みが増える夏季休暇時の受け入れ対応するため、余裕教室の利用やワークスペースを拡張した。 ・公設公営4クラブと公設民営（運営委員会）8クラブの計12クラブについて、令和2年度からの民間委託契約を締結した。 	<p>【放課後児童クラブの待機児童数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の申込数の増加により、待機児童数が増加した。 ・六合小学校で学校の児童数増加により、クラブ室として使用していた教室を返還したため、定員数を59人から30人へと減らしたことから、待機児童数が増加した。 ・初倉南小学校で指導員の人員配置が整わず、定員未達の児童の受け入れとなったため、待機児童数が増加した。 	子育て応援課

令和元年度中の取組、成果	達成率に対する要因、考察	所管課
--------------	--------------	-----

<p>【個に焦点を当てた授業の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個に焦点を当てた授業についての構想を見直し、これからの島田市の小中学校の授業で目指す方向性について検討中だが、これまでの取組を継承しつつ、子供にとって楽しい授業づくりができていることが分かった。 <p>【多様な体験活動の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの夢を育て、地域を愛する豊かな体験活動を推進していくために「夢育・地育推進事業」を展開した。 ・島田中学区と初倉中学区をコミュニティ・スクールのモデル地区として指定研究を実施し、学校と地域との連携強化に繋がり、地域のヒト・モノ・コトを教育活動に活用した。 <p>【子どもたちの成長を支える連携した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園・こども園と小学校、小学校と中学校が、それぞれ円滑な連携を図れるように、研修会や情報交換会を実施した。 <p>【安心・安全な学校づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカーについて、県事業と連携し小中学校に派遣し、配慮を要する児童生徒や学校に対して、より細やかな対応ができるようにした。 	<p>【個に焦点を当てた授業の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個に焦点を当てた授業についての見直しの時期にあたり達成率の若干の下がったものの90%は達成できた。これまでの取組の継続が安定した実績につながっていると考えられる。 <p>【多様な体験活動の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夢育・地育」の指定研究を行っている地域の児童生徒が「学校が楽しい」と答える割合は、市内全ての児童生徒が答える平均値を上回った。地域資源の活用が子供たちの自己肯定感や学校生活の充実感につながっていると考えられ、指定研究の効果の一つと考える。今後、他地区でコミュニティ・スクールを展開していく上で、参考事例になると考えられる。 <p>【子どもたちの成長を支える連携した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・90%近くの子どもが学校が楽しいと答えている。保幼小中と円滑な連携が取れている成果だと考えられる。より高い割合となるように、情報交換や就学支援を繰り返すようにしたい。 <p>【安心・安全な学校づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカーの派遣時間数が前年度より減少してしまったため、細やかな対応をすることに苦慮した。 <p>・達成率の評価については、平成26年度の基準がもともと高いため、達成率が低くなっていると考えられる。</p>	学校教育課
--	---	-------

【基本目標4】 水と緑に囲まれた健康長寿の暮らしやすいまちづくり

施策の目標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	期間中の変更履歴	実績値 (H27年度末) <達成率>	評価 (H27年度末)	実績値 (H28年度末) <達成率>	評価 (H28年度末)	実績値 (H29年度末) <達成率>	評価 (H29年度末)	実績値 (H30年度末) <達成率>	評価 (H30年度末)	実績値 (R1年度末) <達成率>	評価 (R1年度末)
島田市の住みごちが良いと感じる市民の割合 (島田市総合計画市民意識調査)	84.6%	90%		84.9% <5.6%>	C	84.1% <基準値以下>	D	82.4% <基準値以下>	D	85.0% <2.8%>	C	公表待ち (8月末)	—

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)		期間中の変更履歴	実績値 (H27年度末) <達成率>	評価 (H27年度末)	実績値 (H28年度末) <達成率>	評価 (H28年度末)	実績値 (H29年度末) <達成率>	評価 (H29年度末)	実績値 (H30年度末) <達成率>	評価 (H30年度末)	実績値 (R1年度末) <達成率>	評価 (R1年度末)
	基準値 (H26)	目標値 (H31)											

(1) 健康長寿の促進

・健康の保持増進と食育の推進 ・高齢者の健康・生きがいづくりと社会参加の促進 ・スポーツの振興 ・生涯学習の振興	お達者度 (男性) (県において算出)	県内10位 参考: 17.74年 (H24)	県内1位 参考: 県内1位 19.49年 (H24)		県内11位 17.87年 (H25) <7.4%>	D	県内8位 18.27年 (H26) <22.2%>	C	県内8位 18.60年 (H27) <22.2%>	C	県内11位 18.50年 (H28) <基準値以下>	D	公表待ち (9月末)	
	お達者度 (女性) (県において算出)	県内6位 参考: 21.40年 (H24)	県内1位 参考: 県内1位 22.05年 (H24)		県内6位 21.35年 (H25) <基準値以下>	D	県内6位 21.55年 (H26) <基準値以下>	D	県内7位 21.68年 (H27) <基準値以下>	D	県内9位 21.60年 (H28) <基準値以下>	D	公表待ち (9月末)	
	健幸マイ レージに 取り組んだ 人数 (年間)	329人	2,000人		713人 <23.0%>	B	755人 <25.5%>	C	878人 <32.9%>	C	1,300人 <65.0%>	B	1,269人 <63.5%>	C

基本目標の評価	所管課
	戦略推進課

令和元年度中の取組、成果	達成率に対する要因、考察	所管課
--------------	--------------	-----

<p>【健康の保持増進と食育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次島田市健康増進計画及び第3次島田市食育推進計画に基づき、健康の保持増進と生活習慣病の発症予防及び重症化予防、共食の推進を重点に保健事業を実施した。また関連団体等と連携し、食育の普及啓発を図った。さらに、健康無関心層を取り込み、市民の健康寿命を伸ばすための施策として「健幸マイレージ」を実施した。 ●健幸マイレージ 参加者 1,269人 応募件数 2,698件 ●健幸マイレージ PR活動 9回 ●健幸アンバサダー養成 養成講座2回開催 149人 ●健康づくりセミナー 6回 78人 ●健康教育 100回 2,382人 ●健康相談 264回 1,866人 ●訪問指導 53回 50人 ●住民組織の育成 66回 1,320人 ●離乳食講習 11回 離乳食相談 720人 <p>【高齢者の健康・生きがいがづくりと社会参加の促進】（長寿介護課分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康活動・教養活動・地域活動を実施している老人クラブ活動を推進するため、島田市老人クラブ連合会及び単位老人クラブ50団体に対し、補助金を交付した。 	<p>【健康の保持増進と食育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、子育て世代が来場するイベントでのPR活動や地域子育て支援センターにパンフレットとスタンプを設置したことにより、子育て世代にも周知ができたこと、包括ケア推進課の事業である「公認しまトレ」の参加者がマイレージに参加したこと、一定の参加者を確保できたものと考えられる。 ・食推協などのソーシャルキャピタルや食育の関係各課の連携や協力による減塩や野菜摂取の推進、「具だくさん島田汁」を媒体とした食育の普及啓発と児童クラブや高校生をはじめとする若い世代への取り組みを強化した、「食育の日」をはじめ、市のイベント等で啓発した。 <p>【高齢者の健康・生きがいがづくりと社会参加の促進】（長寿介護課分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブへの新規参加者が少なく、クラブ数・会員数が減少していることにより、高齢者が老人クラブ活動による健康・生きがいがづくりと社会参加をする機会が減っている。これにより、実績値が目標に達していない一因となっていると思われる。 <p>【高齢者の健康・生きがいがづくりと社会参加の促進】（包括ケア推進課分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元氣・脳力アップ塾を受講した方が中心となって立ち上がったしまトレがある。介護予防の推進、生きがいがづくりの推進につながったものと考ええる。 ・地域ふれあい事業やパワーリハビリ教室は、高齢者の生きがいがづくりや社会参加の場として、さらなる普及啓発が必要であると考ええる。 	健康づくり課
<p>【高齢者の健康・生きがいがづくりと社会参加の促進】（包括ケア推進課分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーリハビリ教室事業を実施するとともに、指導員を養成し、高齢者相互が支え合う体制づくりを促進した。 ・六合地区にパワーリハビリ教室を増設、75回実施し、71人が参加した。 ・元氣・脳力アップ塾を3会場各5回コースで開催、合計52人が受講した。 ・元氣・脳力アップ塾開催後、受講者が中心となり開催した地域でしまトレが1か所立ち上がった。 ・脳の健康度テスト（ファイブコグ）を実施し、認知症予防を推進した。 ・地域ボランティアの協力を得ながら、地域ふれあい事業を実施し、介護予防、認知症予防を推進した。 ●パワーリハビリ教室537回、参加者554人（延6,256人）、サポーター275人（延4,005人） *シニアトレーニング指導員養成講座30回44人（延384人） ●元氣・脳力アップ塾15回52人 ●脳の健康度テスト11回192人 ●脳の健康度テスト結果説明会11回162人 ●地域ふれあい事業979回 参加者1,539人（延17,257人）、ボランティアスタッフ758人（延8,164人） <p>【スポーツの振興】</p> <p>市民ひとり1スポーツを推進するため、トランポウォークを始めとするニュースポーツの各種教室や講習会を開催した。また幅広いニーズの方々に参加できるスポーツイベントを開催した。これらにより、年間で総計3,597人の参加があった。</p>	<p>【スポーツの振興】</p> <p>令和元年度は、ローズアリーナにおいて、県主催の「ニュースポーツふれあいフェスタ」に併せ、市主催で「島田バラスポーツパーク」というイベントを新規で開催したため、年間のスポーツイベントに多くの参加者があった。</p> <p>【生涯学習の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進大綱周知の一環として、常葉大学・島田商業高校の学生、藤枝市社会教育委員の参加を得てワールドカフェを開催した。青年層や近隣市住民の意見を待て、その周知方法について考察した。 ・指定管理者（5年協定、2年目）の経営努力により、経費の削減と充実した内容の講座開設を進めた。 ・フェスタしまだや成果発表会への参加は、それぞれの講座が1年間の学びの集大成と位置付けている。中止になったことで成果の確認機会を失ったが、練習を積んだことでびの動機付けと継続に寄与することができた。 ・金谷宿大学事業の運営母体における学生代表者の役割を縮小したことが、講座に申し込み学びを始める際の心理的障壁（役割負担の不満）の解消に繋がった。 	長寿介護課
<p>【生涯学習の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に策定した第2次生涯学習推進大綱の周知策について協議を行った。 ・楽習センターが、指定管理者の運営となって2年目となり、施設運営の効率化を進めている。 ・生涯学習大会「フェスタしまだ」、金谷宿大学「成果発表会」等の計画し、生涯学習活動を行う市民が当日に向け研鑽を重ねた。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためこれらの行事を中止した。 ・金谷宿大学の役員会のスリム化を図り、事業参加者の負荷軽減を図った。 		包括ケア推進課
		スポーツ振興課

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)		期間中の変更履歴	実績値 (H27年度末) <達成率>	評価 (H27年 度末)	実績値 (H28年度末) <達成率>	評価 (H28年 度末)	実績値 (H29年度末) <達成率>	評価 (H29年 度末)	実績値 (H30年度末) <達成率>	評価 (H30年 度末)	実績値 (R1年度末) <達成率>	評価 (R1年 度末)	
	基準値 (H26)	目標値 (H31)												
(2) 地域包括ケアの推進														
<ul style="list-style-type: none"> 救急医療体制の維持 島田市民病院における医療体制の充実と新病院建設事業の推進 在宅医療の整備 包括的なサービス提供のための取組 地域で支える仕組みづくり 	居場所づくり事業実施箇所数 (年度末現在)	10か所	50か所	H30年度 目標値変更 変更前 60か所	18か所 <16.0%>	B	23か所 <26.0%>	C	38か所 <56%>	B	59か所 <122.5%>	S	61か所 <127.5%>	S
	地域高齢者見守りネットワークづくりの協力事業所数 (累計)	63事業所	164事業所		97事業所 <33.7%>	A	108事業所 <44.6%>	B	117事業所 <53.5%>	B	133事業所 <69.3%>	B	144事業所 <80.2%>	B
	在宅等看取りの率	33.7% (H25)	39%	H30年 指標変更 変更前 在宅看取り者数 (在宅死亡者数 (率))	32.7% (H26) <基準値以下>	D	37.2% (H27) <66.0%>	A	37.8% (H28) <77.4%>	B	37.1% (H29) <64.2%>	B	36% (H30) <43.4%>	C
	しまとれ実施箇所数 (R1年度より追加)	-	100か所	H30年度 指標として追加	-	-	-	-	29か所 (基準値)	-	69か所 <69.0%>	B	82か所 <82.0%>	B

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)		期間中の変更履歴	実績値 (H27年度末) <達成率>	評価 (H27年 度末)	実績値 (H28年度末) <達成率>	評価 (H28年 度末)	実績値 (H29年度末) <達成率>	評価 (H29年 度末)	実績値 (H30年度末) <達成率>	評価 (H30年 度末)	実績値 (R1年度末) <達成率>	評価 (R1年 度末)	
	基準値 (H26)	目標値 (H31)												
(3) 住民生活を支える公共交通基盤の整備														
<ul style="list-style-type: none"> 公共交通網等の充実 民間鉄道による移動手段の確保 	地域公共交通利用者数 (年間)	369,957人	250,000人	H30年度 目標値変更 変更前 370,000人	379,717人 <100%=>	S	256,865人 <基準値以下>	D	240,036人 <基準値以下>	D	251,472人 <100%=>	S	250,214人 <100.1%>	A
	地域公共交通人口カバー率 (R1年度より追加)	64.5% (H29)	79.8%	H30年度 指標として追加	-	-	-	64.5% (基準値)	D	64.4% <基準値以下>	D	65.1% <3.9%>	C	
	地域公共交通エリアカバー率 (R1年度より追加)	69.9% (H29)	76.0%	H30年度 指標として追加	-	-	-	69.9% (基準値)	D	70.4% (0.01%)	C	70.4% <8.2%>	C	

令和元年度中の取組、成果	達成率に対する要因、考察	所管課
--------------	--------------	-----

<p>【居場所づくり実施箇所数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議体による状況把握や島田市社協及び地区社協からの情報提供により、新たな居場所の把握に繋がった。 ・既存の居場所に1回は訪問し、活動内容の把握や各居場所が持つ悩みなどを調査した。 ・高齢者の孤立化を防止するため、高齢者が自由に集い、交流することができる身近な居場所を設置又は整備する住民や団体に対し、補助金を交付した。 ●令和元年度実績：8件 1,502,138円 	<p>【居場所づくり実施箇所数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居場所そのものが周知されており、自治会、町内会でも必要性を感じて、居場所を開催するようになったため、実施箇所数が増加したと考える。 ・居場所の開設、整備をしようとする団体に対し、物品購入等の補助を行うことで、居場所の設置が促進されたと考える。 ・島田市社会福祉協議会と連携し、効率的かつ効果的に実施されたと考える。 	包括ケア推進課
<p>【地域高齢者見守りネットワークづくりの協力事業者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内事業所を戸別訪問し、事業の趣旨を説明するとともに、協力事業所としての登録を依頼した。 ・協力事業所連絡会を年に1回開催し、高齢者の見守りに必要な知識習得のための研修を実施した。 	<p>【地域高齢者見守りネットワークづくりの協力事業者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所の対象業界を絞ることで効果的に協力事業に登録を依頼することができた。 ・依頼したが理解が得られず協力いただけなかった事業者があった。高齢者の見守り・支援体制の構築でより安全な地域づくりができ、ひいては事業者自身にも有益であることの説明が必要と考えられる。 	長寿介護課
<p>【在宅等看取りの率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅等（自宅、老人ホーム、老人保健施設）での看取り者数は420人（36%・H30）である。 ・在宅医療を支える医師や医療関係者を対象に「在宅医療推進研修会」を開催し、市の在宅医療の現状や訪問看護活用のメリット等学んだ。（56人参加） ・市内診療所医師を対象に「在宅医療に関するアンケート」を実施。在宅医療に対する考えや課題等を把握し、事業の拡充につなげた。島田市医師会会員回答率100% ・医師や医療関係者からなる「島田市地域ケア会議在宅医療・介護連携部会」を開催し、「島田市の在宅医療の状況」等について協議した。 ・介護支援専門員を対象に「リビング・ウィル説明者養成講座」を実施。ACPの理解を深め、またリビング・ウィル島田版の普及啓発の促進に努めた。（62人参加） ・一般市民を対象に「自分らしく最期を迎えるために」と題した市民啓発講演会を実施。（480人参加） ・在宅医療と介護の連携を推進するため、しまだ看護つなぎ隊の実習や多職種合研修会（もしバナゲーム体験）等を実施。 ・在宅医療・介護連携相談支援窓口相談数（132件） ・リビング・ウィル配布合計（747枚） 	<p>【在宅等看取りの率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族構成の変化や自宅介護力不足といった背景から、高齢者施設での看取りが増加傾向にあると考える。 ・一方、施設入所中や在宅療養中に病状の急変で救急搬送され、病院死となる事例もある。 また、在宅医療材料供給システムを活用し、在宅療養を継続できている事例もあるなど、達成率の数値には表れない各取組の効果はあると考える。 	包括ケア推進課
<p>【しまとれ実施箇所数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会や町内会、老人会などを中心に、しまとれの普及啓発活動を行った。 ・広報しまだを通して、市民へしまとれの周知を行った。 ・しまとれの立ち上げ団体に対して、継続的に支援を行った。（支援回数：112回） ・しまとれを立ち上げる団体等に対して、備品購入の補助を交付した。（交付件数：12件、交付金額：562,259円） ・平成30年度と比較するとしまとれ実施箇所数は13か所増加した。（実施箇所数：69か所→82か所） ・健康マイレージ事業との連携により、公認しまとれとして実施している団体に専用のスタンプを配布し、1回実施するごとに2ポイントもらえることとした。また、しまとれ専用スタンプを押し印されているカードを提出した人は、健康マイレージの賞から漏れた場合に「しまとれ賞」としてダブルアップチャンスを選んだ。（賞品：涼感マフラータオル・30人） 	<p>【しまとれ実施箇所数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しまとれの知名度があがり、自治会や町内会、老人会などを中心にしまとれが立ち上がった。 ・しまとれは30分程度で終わり、中心となって実施するスタッフの方の負担も比較的少ないため、実施しやすかったと考える。 ・しまとれの効果は、日常生活の中で実感できることから、実施している本人たちのモチベーション向上につながりやすいと思われる。 ・しまとれは30分程度で終わってしまい、物足りないという意見が合ったため、新しい介護予防に資する体操をDVDで作成し、しまとれ実施団体等へ配布した。 ・「しまとれ大会」の開催により、体操の仕方のレクチャーや参加者全員でのしまとれを実施したことが、モチベーションの向上につながったと考えられる。（参加者数：49団体・242人） 	包括ケア推進課

令和元年度中の取組、成果	達成率に対する要因、考察	所管課
--------------	--------------	-----

<p>【コミュニティバス利用者数（年間）】</p> <p>伊久身線、相賀線の一部の便において時刻変更を行った。 平成30年度からの大幅な運行経路、時間の変更は実施しなかった。</p> <p>年間を通じては約1,250人と減となったが、令和2年2月、3月は新型コロナウイルスの影響が大きく響いている。 引き続き住民への広報、啓発を行い、公共交通の利用を訴える。</p>	<p>【コミュニティバス利用者数（年間）】</p> <p>平成30年度に川根温泉線で大規模な経路変更を行い、平成29年度から約1万2千人増となっているが、平成30年度実績から約1,200人の減少にとどまっていることから、変更点が利用者に着いてきたとみている。 また、令和2年3月からは新型コロナウイルス対策による学校の休校が始まり、利用者数の減少の一因となっている。</p>	
<p>【地域公共交通人口カバー率】</p> <p>伊久身線、相賀線の一部の便において時刻変更を行った。 平成30年度からの大幅な運行経路、時間の変更は実施しなかった。</p>	<p>【地域公共交通人口カバー率】</p> <p>対象となる地区に住む移動困難者人口の増加により実績値が上昇したため。</p>	生活安心課
<p>【地域公共交通エリアカバー率】</p> <p>伊久身線、相賀線の一部の便において時刻変更を行った。 平成30年度からの大幅な運行経路、時間の変更は実施しなかった。</p>	<p>【地域公共交通エリアカバー率】</p> <p>経路変更等は行わなかったため、エリアカバー率は現状維持となる。</p> <p>公共交通には様々な要望があるが、未実施箇所についてはどのような手段による実施が可能か、引き続き調査、研究を行う。</p>	